

会 議 録

年 月 日	令和5年12月19日(火)
時 刻	自 午後2時 ～ 至 午後3時35分
場 所	伊那市役所 2階 第1委員会室
内 容	伊那市商工業振興審議会
会 議 概 要	(進行：柴商工振興課長)
	1 開会(北澤副会長)
	2 あいさつ
	(1) 安川会長
	・今年、5月にコロナの5類移行があり、社会経済活動が動き始め、地域では各種行事が再開し、商店街にはコロナ前と同様に賑わいが戻ってきている。
	・一方、地域経済の状況は、昨年来の円安、物価高騰に加え、中国経済の減速、賃上げ等の影響が市内事業者にも及んでおり、大変厳しい経営状況が続いていると聞く。
	・この商工業振興審議会は、伊那市の経済を支える商工業の振興について審議する会議である。委員の皆さんが把握されている状況等をお聞きしながら、情報共有の場として、よい提案ができればと考えている。
	・今日は、市の商工業振興計画となる「伊那市商工業振興ビジョン」の中間見直しについて、ご協議いただく。計画の後期5年間に向けての見直しとなる。委員の皆さんの意見を伺いながら、今年度中に完成させていく予定であるので、ご協力をお願いしたい。
	(2) 重盛部長
	・この審議会は、伊那市の商工業振興や雇用対策に関する事案について、識見を有する皆様からご意見を伺い、地域経済の発展につなげていくものである。
・製造業では、在庫調整、円安、物価高騰、中国経済の影響があり、非製造業では、コロナの5類移行後、人の動きは見られるが依然物価高騰の影響を受けている。	
・さまざまな分野において人材が不足している。伊那市では上伊那広域連合と連携しながら人材確保・育成に努めている。また、企業においては、自動化や省力化を進めている。	
・今日は、商工業振興ビジョンの中間見直しについて説明させていただく。商工業振興や雇用対策に対する課題について、審議会委員の皆様幅広い識見やお知恵をいただきながら、商工業の発展につなげていきたい。	
3 自己紹介	
4 会議事項	
(1) 「伊那市商工業振興ビジョン」中間見直しについて	
・「企業立地の推進」の記載について、もう少しみ砕いて具体的に方向性を記載したほうがよい。世界的なリスクを回避することと、伊那市への立地がつながるような記載ができればよい。	

→伊那市では他自治体に遅れて平成16年9月に企業誘致部門を立ち上げたが、右肩上がり
で順調に工場数は増えている。農産物を原料にした食料品製造業の立地や、BCP、リスク
分散が魅力となり立地件数が伸びている。しかし、同じ人口レベルの自治体と比較する
と、企業数はまだまだ足りない、同じ人口レベルの自治体に近づけるように目標を設定し
て管理していくことが必要と思う。

- ・DXやIoTの視点に加え、女性、外国人、高齢者の活躍についても具体的に記載してはどうか。若い女性が就業し、出産・育児後でも活躍できる基盤づくりについて、具体的に記載してほしい。

→人材不足の中で、女性や高齢者が社会で活躍できる取組、外国人雇用の支援は必要である。労働力の確保ができる取組、仕事と子育てが両立できる取組の記載は検討していきたい。

- ・伊那市は企業誘致に力を入れていることから、今後ますます労働力確保が大きな課題になってくる。国で外国人技能実習制度の見直しを行っている。外国人労働者の受け皿としての企業の対応、行政の支援など、外国人労働力の視点も盛り込んでいただきたい。
- ・商工業振興ビジョン中間見直し版の最新の数字は令和3年の数字であるが、ここ1～2年で商業に関してはさらに状況が厳しくなっている。商工業振興ビジョン中間見直し版にある数字よりも現状の認識を厳しく捉えていただきたい。
- ・いーなちゃんカードは、駒ヶ根市のつれてってカード加盟店でも利用できるなど、新たな取組をされていると思うが、キャッシュレス時代のコミュニティカードとして、次の段階を検討していくという文言も検討していただければと思う。
- ・人材不足が深刻な状況で、企業誘致を進めればさらに人材不足が加速していく。どのように人材不足に対応していくかが重要である。また、既存企業は今後淘汰されていくので、既存企業全体の競争力をどう上げていくかという視点も重要である。
- ・商業と観光は密接に関係している。リニアと観光と商業は一つのつながりで考えていかなければならない。観光の要である高遠をどう商業に絡めていくか、どう進めていくかを記載できないか。

→観光には観光実施計画があるが、商業と観光には密接な関係があるので、検討していきたい。

(2) 来年度新規事業について

(3) 意見交換

- ・工場等設置事業補助金の対象が生産に直結する設備だけになっているが、今後の見直しで省エネ設備にも対象を広げてはどうか。

→財源が市の一般財源であり、対象拡大が難しいところであるが、時代に即して見直しの検討は必要と考える。

- ・コロナ対策の予算で余った予算があった場合、展示会に共同出展する際の支援など復活してもらえれば、伊那市の工業用地のPR等もできるのではないか。

→コロナ対策の臨時交付金は使途が決まっているため転用は難しいと思うが、ご要望としてお聞きする。

5 その他

(1) 令和5年度企業アンケート結果報告

(2) 商工業振興ビジョン中間見直し今後の実施スケジュールについて

- ・ 令和6年1月中 専門部会(各担当分野の内容検討)
- ・ 2月下旬 商工業振興審議会(専門部会報告、ビジョン見直し素案)
- ・ 3月 商工業振興審議会(ビジョン中間見直し版)

6 閉会(北澤副会長)